

2022年9月30日

関係各位

野村ホールディングス株式会社

コード番号8604

東証プライム市場・名証プレミア市場

GXリーグにおける『GX経営促進ワーキング・グループ』の設立と 幹事企業就任について

～企業が持つ気候変動への貢献の機会が適切に評価される仕組みを構築します～



野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、このたび、GXリーグ※における取組みの1つである「市場創造のためのルール形成」において、当社を幹事とする6社のリーダー企業および73社のメンバー企業とともに「GX経営促進ワーキング・グループ」(以下「GX経営促進WG」)を設立しました。

GXリーグでは、2023年度からの本格稼働に向け、2022年度は440社以上の賛同企業とGXリーグに向けた3つの取組みの実証を進めております。今回設立したGX経営促進WGは、そのうち、官民でのルール形成を行うためのメカニズムを実証する「市場創造のためのルール形成」に関する取組みの一環として位置づけられています。

GX経営促進WGでは、世界全体のカーボンニュートラル実現に向けて、日本企業が持つ気候変動への貢献の機会(市場に提供する製品・サービスによる排出削減等)が適切に評価される仕組みを構築することを目的としていきます。また、リーダー企業・メンバー企業による検討・議論を通じて、気候関連の機会に関するガイドラインの発出やイニシアティブの組成等を目指しています。

野村グループは、「Drive Sustainability.」というコンセプトのもと、サステナブルな社会の実現と社会的課題の解決のため、今後も脱炭素社会への移行をはじめとする、お客様のサステナビリティの取組みへのサポートに注力し、高い付加価値を継続的に提供していくことで、真に豊かな社会の創造に貢献していきます。



※ GXとは、「グリーントランスフォーメーション」の略。2050年カーボンニュートラルや、2030年の国としての温室効果ガス排出削減目標の達成に向けた取組みを経済の成長の機会と捉え、排出削減と産業競争力の向上の実現

に向けた、経済社会システム全体の変革を行う。2022年2月1日に経済産業省 産業技術環境局が「GXリーグ基本構想」を発表。GXに積極的に取り組む「企業群」が、官・学・金でGXに向けた挑戦を行うプレイヤーとともに、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場として「GXリーグ」を設立。

【リーダー企業】

野村ホールディングス株式会社(幹事)	株式会社日本政策投資銀行
ダイキン工業株式会社	パナソニックホールディングス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	三井住友信託銀行株式会社

【メンバー企業】

旭化成株式会社	損害保険ジャパン株式会社
アストラゼネカ株式会社	大成建設株式会社
アズビル株式会社	株式会社ダイセキ
出光興産株式会社	株式会社タケエイ
伊藤忠商事株式会社	株式会社チェンジ・ザ・ワールド
EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	中部鋼鉄株式会社
岩谷産業株式会社	中部電力株式会社
AGC株式会社	帝人株式会社
NTN株式会社	帝人フロンティア株式会社
ENEOS株式会社	デロイトトーマツグループ
MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社	株式会社電通
大阪ガス株式会社	東京ガス株式会社
株式会社オールニード	東京電力ホールディングス株式会社
オムロン株式会社	東洋製罐グループホールディングス株式会社
尾張陸運株式会社	東レ株式会社
カーボンフリーコンサルティング株式会社	戸崎産業株式会社
株式会社格付投資情報センター	株式会社ドリームインキュベータ
QOL経営研究所	西日本旅客鉄道株式会社
株式会社Green Carbon	日揮ホールディングス株式会社
栗田工業株式会社	日興アセットマネジメント株式会社
グロービング株式会社	日清食品ホールディングス株式会社
Circular In-finity	株式会社日本触媒
株式会社Sustech	日本郵船株式会社
株式会社島津製作所	一般社団法人日本経営士会
昭和電工株式会社	日本航空株式会社
スズキ株式会社	パイオニア株式会社
スマートエコエナジー株式会社	ハリタ金属株式会社
住友商事株式会社	BASFジャパン株式会社

住友林業株式会社	株式会社日立製作所
人・夢・技術グループ株式会社	三菱ケミカル株式会社
BIPROGY株式会社	三菱重工業株式会社
フクシマガリレイ株式会社	三菱商事株式会社
株式会社フジクラ	株式会社毛髪クリニックリーブ21
フューチャー株式会社	株式会社安川電機
株式会社みずほフィナンシャルグループ	楽天グループ株式会社
三井化学株式会社	株式会社LIXIL
三井物産株式会社	

以上